



記事を読んで考えをまとめる生徒たち

読み比べや分析 思考力を育てる

美郷中学校の校舎3階にあきて並べ、読み始める。雪ホールに、六人の全校選ぶ記事はさまざま。「ほ生徒が集まると、国語教諭の乳類の絶滅」と「青サンゴが谷木由利教頭が「記事を読んで感じたことをまとめよう」選んだ女子生徒は、社会の生と声を掛ける。週一回、全員産活動が地球環境の悪化を招で取り組む選択国語の時間き、その結果として弱い生物だ。生徒たちは厚いファイルから死滅していることを訴えから、これまでに、新聞を読ている、と記事の内容をワーんで切り抜いた記事を出してクシートにまとめ「では人類

はどうすべきなのか」と書き始めて考え込んだ。また、男子生徒は、インドで昨年発生したテロ事件を報じた徳島新聞や全国紙の記事を並べて比べ、見出しに書かれている内容が少しずつ違うことや地図の詳しさが違うことなどを指摘し、新聞ごとに異なる情報量に驚いた。

生徒たちの取り組みを見ながら、谷木教諭は「情報を集めて分析することで思考力や判断力が身に付く。そしてまとめた意見を発表し合うことで、より考えが深まる」と力を込める。同校はNIE実践初年度。谷木教諭は、以前の赴任校でNIE授業の経験があり、四月から、国語に新聞など教科書以外の教材を取り入れ、詩や生徒各自が体験をまとめた作文を題材に意見交換を続けた。こうした準備を重ねて取り入れたNIE授業では、記事を選んで読み解く作業をスムーズに始めることができた。

さまざまな記事を読み、知識を深め、自分の考えをまとめて発信できるようにするのが目標。確実に歩を進めている生徒たちを見て谷木教頭は「生きる力が身に付いてきている」手応えを感じている。